

経済協力シリーズ 176

東アジアの工業化と 日本産業の新国際化戦略

北村かよ子 編

経済協力シリーズ第176号

東アジアの工業化と 日本産業の新国際化戦略

北村かよ子 編

アジア経済研究所

東アジアの工業化と 日本産業の新国際化戦略

経済協力シリーズ第176号

東アジアの工業化と
日本産業の新国際化戦略

北村かよ子 編

発 行

アジア経済研究所 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)4231(代)

1995年11月30日発行© 無断転載禁ず 印刷／製本・広研印刷
ISBN4-258-09176-6 C3033

発 売

アジア経済出版会 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)1640

定価3900円 (本体3787円)



定価3900円 (本体3787円)

ISBN4-258-09176-6 C3033

目 次

まえがき

第 I 部 総論編

第 1 章 東アジアの工業化と外国投資の役割——北村かよ子…… 5

はじめに…… 5

I FDI (外国直接投資) の国際的潮流…… 8

1. 国際的に高まる FDI への期待…… 8
2. 東アジアを目指す世界の FDI と域内 FDI の高まり……10

II 東アジアの工業化に果たした FDI の役割

——東アジア工業圏形成の過程——……14

1. 「投資と輸出の好循環地域」のスピルオーバー……14
2. ASEAN・中国の輸出工業化政策の転換と NIES の影響……16

III 東アジアの輸出工業化の成功要因とアジア・太平洋

地域の相互補完性……17

1. 日本・アメリカの産業構造調整……18
2. NIES の対外 FDI の進展とその影響……20
3. 東アジアにおける機械産業分野の構造調整……24
4. 東アジアの FDI の特色……25

IV 東アジア工業化の現状とそのアクター……28

1. NIES 製造業の主要部門とその変化……28
2. ASEAN 製造業の主要部門とその将来展望……30
3. 中国の工業発展の現状とその影響……34

むすび——分業によって進む東アジアと日本の相互調整——……34

第 2 章 日本の産業構造調整と課題——藤山一穂……39

I 日本とアジア諸国の相互調整……39

II 日本産業の構造変化……40

III	輸入圧力の拡大と価格調整の進展	45
IV	日本産業のアジア展開	50
V	安定成長のための課題	57
第3章 中小企業の構造変化と対外投資の現状		織田照明
	はじめに	61
I	わが国の中小企業の位置づけとその役割	62
II	中小企業の構造変化	
	——円高定着に伴う構造変化——	65
	1. 高まる輸入浸透度	65
	2. 活発化する大企業の海外投資	67
	3. 大企業のリストラと下請中小企業	69
III	国内経済の空洞化とわが国中小企業	73
	1. 国内経済の空洞化の影響	73
	2. 空洞化の具体的な影響と対応策	75
IV	国際化時代の中小企業	79
	1. 中小企業の海外進出の足取り	79
	2. 高まる中小企業の進出意欲	81
V	新たな国際分業体制の模索	85
	おわりに——新たな産業社会における中小企業の役割——	87

第II部 地域編

第1章 調整局面を迎える中国経済と対中投資		丸山伸郎
	はじめに	91
I	中国経済の成長要因と隘路	92
	1. キャッチングアップ効果	92
	2. 農業制度改革のインパクト	94
	3. 双軌制改革の矛盾	94
	4. 消費ブームと産業構造の歪み	95
	5. 輸出志向戦略と沿海発展戦略	98
II	構造調整を要する課題	100
	1. 改革・開放政策の新たなステージ	100

2.	高度成長の歪み	101
3.	市場開放	104
III	新産業政策	105
1.	1989年の産業政策の失敗	105
2.	1994年産業政策	106
3.	新外資政策	107
IV	対中投資と日中間産業分業	110
1.	対中投資の現状	110
2.	日本の対中投資	115
	まとめ	119
第2章	ASEAN 諸国の産業構造調整と外国投資	青木 健 123
I	躍進目覚ましい ASEAN 経済	123
II	外資の急流入	126
III	変化した外部環境	129
IV	顕在化した供給サイドのボトルネック	132
V	構造調整と外国投資	134
1.	人材育成と外国企業	137
2.	外国企業と技術移転	138
3.	サポーティング・インダストリーと外国企業	139
4.	物的インフラの整備と外国企業	141
5.	地域的産業構造調整メカニズムとしての「二重機能」	144
VI	ASEAN をめぐる国際分業の行方	147
第3章	90年代韓国の産業構造調整とその課題	
	——石油化学産業を中心に——	安倍 誠 161
	はじめに	161
I	韓国の産業構造変化と石油化学産業の成長	163
1.	産業構造変化とアジアとの関係深化	163
2.	石油化学産業の急速な成長	165
II	エチレンセンター建設ラッシュの経緯	167
III	エチレンセンター建設ラッシュの要因	170
1.	「金を生む産業」——需要急増と原油安——	170

2. 資金調達が多様化……	172
3. 公企業民営化・投資自由化と一貫工程への動き……	174
IV 建設ラッシュの帰結……	178
1. 過剰供給・収益悪化と政府による投資規制の復活……	178
2. 過剰供給深刻化の要因——固定費確保とシェア獲得競争——	180
V 今後の石油化学産業の展望	
——高付加価値化と企業間提携——	182
まとめ……	184

第Ⅲ部 産業編

第1章 東アジアの家電産業と日本の産業調整——阿部欽——	193
はじめに……	193
I 家電製品の世界需要動向……	194
II わが国家電産の生産状況と輸出入動向……	195
1. 輸出……	197
2. 輸入……	197
3. わが国家電産の海外生産展開……	198
III 海外生産拠点シフトの要因……	200
1. 円高による価格競争力の低下……	201
2. 貿易不均衡の是正（円高の歯止め）……	202
IV 国内流通の変革と輸入……	202
V 生産拠点の海外シフトと日本の産業空洞化……	203
VI わが国家電産の海外生産拠点シフトの特徴……	204
VII アジアの生産拠点の性格	
——国際分業とそのあるべき姿——	206
VIII 家電産業からみたアジアの経済・産業動向……	208
1. 経済動向……	208
2. アジア家電産業の生産現状……	209
IX 国別需要規模	
——魅力あるアジア市場——	211
X 日本企業の新たな役割……	213
1. 真のグローバル企業への転身……	214

2. 得意分野の優位性確保……	214
3. 新たな研究テーマの発掘……	214
おわりに……	215
第2章 東アジアの電子部品産業と日本の産業調整——御手洗久巳……	217
I 世界の電子産業と東アジアの部品産業の位置づけ……	217
II 東アジアの電子部品産業の概況……	219
1. NIES（ここでは韓国／台湾に焦点）……	220
2. ASEAN……	222
3. 中国……	226
III 東アジアの電子部品産業における日系企業の役割……	228
IV 電子部品をめぐる日本の産業調整課題……	237
1. 日本の部品生産の減少傾向と新分野開拓……	237
2. 国内空洞化問題……	239
3. 部材調達の実地化の促進……	240
4. ASEAN 部品の価格再設定と品質向上問題……	241
5. 海外展開の利益回収方法……	242
6. 東アジアの生産拠点の経営形態……	243
第3章 東アジアの繊維産業の構造変化と日本の産業調整 ——そのグローバル化の流れ—— 岩崎博芳……	245
はじめに……	245
I 日本の繊維産業をとりまく環境の変化……	248
II 東アジア繊維産業の地位と現状……	251
1. 韓国：海外移転が加速，国内は高付加価値化へ……	252
2. 台湾：大陸への素材供給の要……	254
3. 香港：発信基地としてグローバル化が進展……	256
4. 中国：生産拠点と消費市場の二面的発展……	257
5. ASEAN：小規模ながら急成長……	259
6. ベトナム：未発達な川上，川中……	261
III 展望と日本の対応……	262

第4章 東アジアの石油化学産業の発展と

日本企業の国際展開——横井陽——269

はじめに……269

I 東アジアの石油化学産業の発展と日本の位置……271

1. 東アジア諸国の石油化学製品需要の拡大……271
2. 東アジア諸国の石油化学製品需給関係の変動要因……274
3. 世界の石油化学製品市場としての東アジアと日本の位置……276
4. 1990年代後半の東アジアの需給構造と日本……277

II 日本の石油化学産業の国際展開の現状……279

1. 日本の石油化学産業の国際展開（輸出，輸入，
海外生産）の特徴……279
2. 日本の石油化学産業の海外直接投資の動向……284
3. 東アジアの石油化学産業の国際競争の変化……288

III 日本の石油化学企業のアジア展開の課題と「産業調整」……293